

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成26年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立ゆずりはら青少年自然の里	所管課	社会教育課
所在地	上野原市柵原13880	設置年月日 (改築年月日等)	平成10年7月14日
管理方式	指定管理者(上野原市、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年自然の里設置及び管理条例		
設置目的	自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。主催者事業の実施を通じ、自然の中でふるさとを愛するたくましい青少年を育成する機会を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	宿泊等:一般棟(26人)×3、家族等(4人)×4、身障者等(2人)×1、(4人)×1 食堂(96人)、ラウンジ(20人)、多目的ホール(150人) キャンプ場:テント(10人)×10、炊事場、トイレ		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 地域における生活文化の経験学習に関する業務 野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 野外活動及びレクリエーションに関する業務 その他教育委員会が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	上野原市立地域交流館 山梨県立なかとみ青少年自然の里:定員108人:H26利用者数 7,651人 山梨県立愛宕山少年自然の家:定員150人:H26利用者数 19,065人 山梨県立八ヶ岳少年自然の家:定員210人:H26利用者数 43,362人
---------------------	---

3 利用状況

単位:人、%

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (目標値)
利用者数	宿泊利用者数	8,567	8,684	8,210	
	キャンプ場利用者数	984	1,085	972	
	日帰り利用者数	1,809	2,092	1,995	
	利用者数合計	11,360	11,861	11,177	
	目標値	10,000	12,000	12,000	12,000
	目標値設定の考え方及びその理由	指定管理者が計画している利用者数を目標値とする。	指定管理者が計画している利用者数を目標値とする。	指定管理者が計画している利用者数を目標値とする。	平成26年度に達成できなかった昨年度と同じ目標値とした。
	対24年度比	100.0%	104.4%	98.4%	105.6%
稼働率	69.0%	67.0%	60.4%		

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成25年度	平成26年度 (計画値)	平成26年度 (実績値)	平成27年度 (計画値)
収 入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	33,948,000	35,176,000	35,176,000	35,100,000
	その他	2,016,968	0	426,967	2,979,000
	収入合計(A)	35,964,968	35,176,000	35,602,967	38,079,000
支 出	人件費	20,228,095	20,271,000	19,286,469	20,461,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	15,736,873	14,905,000	16,316,498	17,618,000
	うち外部委託費(B)	4,343,131	4,627,000	4,506,101	5,335,000
	支出合計(C)	35,964,968	35,176,000	35,602,967	38,079,000
収支差額(A-C)		0	0	0	0
外部委託比率(B÷C)		12.1%	13.2%	12.7%	14.0%
利用者一人当たりの経費		2,862.2	2,931.0	3,147.2	2,925.0

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成26年4月～27年3月、実施方法:県立ゆずりはら青少年自然の里利用団体へのアンケート、回答数:52団体
-------	--

単位: %

調査項目	満足	やや満足	不満	無記入
施設までのアクセス	84.0%	0.0%	10.0%	6.0%
申し込み方法	94.0%	0.0%	2.0%	4.0%
料金	96.0%	0.0%	0.0%	4.0%
活動プログラム	92.0%	0.0%	0.0%	8.0%
貸出道具	82.0%	0.0%	10.0%	8.0%
食事内容	65.0%	17.0%	6.0%	12.0%

調査項目	満足	やや満足	不満	無記入
施設全般の満足度	81.0%	13.0%	2.0%	4.0%

利用者の意見	施設がきれい使いやすい。スタッフが対応が親切。 道が狭くマイクロバスでも入れるようにしてもらいたい。また、車以外のアクセスが不便。 野外炊飯用の道具を貸し出してほしい。 食事の料金が高い。
利用者の意見への対応	利用者に気持ちよく利用していただけるように、1日2回の清掃には細かく注意をはらっている。 県道からの道が狭いために車のすれ違いができない箇所があり不便であるので、注意看板及び案内看板等も設置した。 バスについては、団体の要望で臨時バス便の対応も行っている。 食事については、委託業者と話し合い、より一層安全に提供することを一番に考え、少しでも食材を安く納品できるよう努力している。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	利用者に気持ちよく利用していただくように、職員等も1日2回の清掃を行い、業者によるワックスがけ、高窓拭きなど、常に快適な環境づくりに努めている。	維持管理については、とてもきれいに管理されていて、利用者にとって気持ちよい施設を提供している。
運営業務	利用団体のニーズ多様化の中、入退所時間を柔軟に対応したり、休日に運営するなど団体の利便性に配慮した。また、広報活動等にも工夫している。	利用者の要望に対応するなど利便性向上の取組が行われた。広報活動も県外(東京都、神奈川県)に向けて積極的に行われている。
自主事業	新しい事業を取り入れるとともに、PR活動に力を入れた結果、参加者が増加した。また、子どもの「声」を「聴き」(心)を(訊く)指導者を志し、心と心のキャッチボールのできる「見守る人」になれる指導員を目指し努力している。	利用者のニーズを考えた新規事業を取り入れるなど、創意工夫が見られる。今後も魅力ある新たな事業を計画し、利用者の増加を図る必要がある。
利用状況	利用料金が安いことや都内に近い距離にあるためリピーターが多い。今後も利用者向上に、県外近隣(藤野・相模湖方面等)により一層のPRを行う。	県外へのPR活動により県外利用者が多く占めている。また、自然の里設置及び管理条例にある「ふるさとを愛する」に向けて県内利用者へのPR活動についても積極的に行いたい。
収支状況	築17年になるため、老朽化が増えてきたため、職員でできる修繕は積極的に対応し経費節減に努めている。	上野原市の自主財源を充てる経費が減少したことから、施設の経費削減に努めていることが伺える。
利用者満足度	利用者の意見を参考にしながら改善し、接客を心得かけて利用者に満足していただけるように、常に利用者の気持ちを考え、初心を忘れず笑顔での対応を心がけている。	施設がきれいであり、職員の対応もアンケート結果から親切に対応していただいている。その他、利用者からの要望については、改善して質の高いサービスを提供して欲しい。
運営目標の達成状況	H26 利用者数目標値 12,000人 実績 11,177人 H26 主催者事業参加者数目標値 1,200人 実績 1,597人 PR活動の成果はあったが、気仙沼市児童生徒招待事業のため1週間貸切にしたので利用者人員の減少につながった。今後もPR活動範囲を広げ利用者増を目指したい。主催事業については、新しい事業を取り入れるとともに、PR活動に力を入れた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設内外ともにきれいに管理され、利用者アンケートにもあるように職員の対応も親切で丁寧である。今年度11,177人で利用者目標12,000人を超えることができなかったため、閑散期(12月～2月)の施設利用の工夫や魅力ある新規自主事業を行うことにより、利用者数を伸ばしたい。県外に向けてのPR活動により県外利用者は伸びている。県内に向けても施設を周知するPR活動を行い利用者を増やしたい。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	施設所管課の評価を心から受け止め、来年度は閑散期(12月～2月)に、より一層の体験活動の推進を図り、地域の人々の協力を得て、教育委員会との協賛による通学合宿・不登校児の心を開く自然学習事業・スポーツ少年団指導者講習会等を計画して、目標12,000人を達成したい。また、自主事業もより一層の創意工夫や魅力ある新事業を行い、利用者数を伸ばし、県外に向けてのPR活動及び県内に向けても教育事務所の協力もお願いしてのPR活動を行い利用者を増やしたい。	

7 管理体制(組織図)

平成26年4月1日現在

